

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	外国政府派遣留学生の予備教育等留学生受入促進事業			担当部局庁	高等教育局	作成責任者	
事業開始年度	昭和54年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高等教育局国際戦略PT	PTリーダー	渡辺 栄二
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)		
主要政策・施策	ODA			主要経費	経済協力		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中国政府との教育交流計画及びマレーシア政府の東方政策に基づく我が国への留学生派遣に関し、現地で行う予備教育のための教員派遣や選考試験実施等に対する協力の実施を目的とする。 併せて、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生等の交流促進を目的とし、単位互換を普及するための単位互換方式の開発・活用などを行い、アジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 中国赴日本国留学生 日中間の教育交流計画に基づき、中国人留学生を我が国の大学院へ受け入れている。文部科学省ではこれらの留学生の受け入れにあたり、現地で行う日本語の予備教育のための教員派遣等の協力を行っている。 ② マレーシア政府派遣留学生 マレーシア政府の国策である東方政策に基づき、マレーシア政府派遣留学生を我が国の大学学部及び高等専門学校へ受け入れている。文部科学省ではこれらの留学生の受け入れにあたり、現地で行う教科教育のための高等学校教諭の派遣(学部のみ)、選考試験実施等の協力を行っている。 ③ UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific: アジア太平洋大学交流機構) UMAPにおけるアジア太平洋地域内の高等教育機関間の協力を推進するとともに、学生等の交流を増やし、高等教育の質を高めることによって域内諸国・諸地域の文化・経済・社会制度の理解を深めるため、学生交流の阻害要因となっている単位互換問題を解決するための「UMAP単位互換方式(UCTS(UMAP Credit Transfer Scheme))」を普及させ、域内における学生の交流の推進を図っている。						
実施方法	直接実施						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	118.7	135	110.4	110	112.1
		補正予算	-	▲13.9	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	118.7	121.1	110.4	110	112.1
	執行額		117.5	111.8	91.8		
執行率 (%)		99%	92%	83%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		99%	92%	83%			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
	政府開発援助留学生業務謝金		87.6	87.6	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	政府開発援助留学生業務庁費		9.5	11.6			
	政府開発援助教員等派遣旅費		6.1	6.1			
	政府開発援助留学生指導教員等旅費		2.7	2.7			
	政府開発援助アジア太平洋大学交流機構拠出金		2.4	2.4			
	政府開発援助留学生業務旅費		1.7	1.7			
	計		110	112.1			

活動内容 (アクティビティ)	中国政府との教育交流計画及びマレーシア政府の東方政策に基づく我が国への留学生派遣に関し、現地で行う予備教育のための教員派遣や選考試験実施等に対する協力を実施。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	現地で言う日本語の予備教育のための教員派遣等の協力	中国赴日本国留学生予備学校(吉林省長春市東北師範大学内)及びマラヤ大学予備教育部派遣教員数	活動実績	人	37	36	36	-	-	
			当初見込み	人	36	36	35	36	36	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額(UMAPを除く)/派遣教員			単位当たりコスト	百万円	2.4	2.4	1.9	2.5	
				計算式	百万円/人	86/37	88/36	65/36	90/36	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	我が国が受け入れる外国人留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	312,214	279,597	242,444	-	-	
			目標値	人	300,000	300,000	300,000	-	-	
			達成度	%	104.1	93.2	80.8	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	(独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」									
活動内容 (アクティビティ)	中国政府との教育交流計画及びマレーシア政府の東方政策に基づく我が国への留学生派遣に関し、現地で行う予備教育のための教員派遣や選考試験実施等に対する協力を実施。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	中国赴日本国留学生予備学校(吉林省長春市東北師範大学内)及びマラヤ大学予備教育から日本への留学生数の増加	中国赴日本国留学生予備学校(吉林省長春市東北師範大学内)及びマラヤ大学予備教育から日本への留学生数	活動実績	人	157	187	232	206	-	
			当初見込み	人	129	147			-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額(UMAPを除く)/派遣教員			単位当たりコスト	百万円	0.5	0.5	0.3	0.4	
				計算式	百万円/人	86/157	88/187	65/232	90/206	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	中国赴日本国留学生予備学校(吉林省長春市東北師範大学内)及びマラヤ大学予備教育から日本への留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	中国赴日本国留学生予備学校(吉林省長春市東北師範大学内)及びマラヤ大学予備教育から日本への留学生数	成果実績	人	157	187	232	-	-	
			目標値	人	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流(UMAP単位互換方式による単位互換認定実績)	アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進(UMAP単位互換方式による単位互換認定実績)	活動実績	人	117	9	-	-	-	
			当初見込み	人	159	118	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進(UMAP単位互換方式による単位互換認定実績)	成果実績	人	117	9	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流協力の推進		
	政策評価	施策	13-1 国際交流の推進	政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf	
				該当箇所 同上	
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	-
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-
該当箇所			-	-	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	日中五か年計画及びマレーシア政府の東方政策に基づき、中国やマレーシアからの留学生を受け入れており、現地で行う予備教育のための教員派遣や選考試験実施等の協力を行っている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が直接事業を実施することにより、各国との友好関係を築くものであり、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	中国及びマレーシアとの政府間協力のもと、それぞれの国から我が国への学生の留学を円滑に行うため日本語予備教育等を実施する支援であること、また、UMAPが行うアジア・太平洋地域の留学生交流の取組に正会員国として参画するために必要な支援であることから、国費投入の必要がある優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	中国政府やマレーシア政府と協力し互いに適切に負担している。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	日本の大学入学に必要な基礎的科目の教育指導を行うため、適切な教員数を派遣している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	中国及びマレーシアにおいて日本語予備教育等を行う派遣教員の諸謝金等の一部を支出するものであり、派遣教員の在勤手当等の支給に関して、毎年度、適切な水準となるよう規定の見直しを実施している。また、UMAPについても、日本国内委員会事務局への支出であり、費用・用途については正会員国としてUMAPの活動に参画するため経費として、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用発生の主要因である海外派遣教員の手当は、都道府県等における教員不足等の理由により派遣教員数に欠員が生じていることに加え、為替レートによる現地政府負担額の変動や帯同家族の多寡等の不確定要因による所要額の増減があり、正確な予測は困難。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	毎年、同じスケジュールで実施されているので、早めに申請することでの旅費の効率化など、適切に行っている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	留学生30万人計画の実現に向けて、適切に実施している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	都道府県等における教員不足等の理由により、マレーシアへの派遣教員数に欠員が生じているが、日本語予備教育は滞りなく行われており、適切に留学生を受け入れている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	

点検・改善結果	点検結果	当該事業を実施したことによって、現地予備教育機関から着実に留学生の受け入れを実施することができている。
	改善の方向性	現地予備教育機関で受け入れている留学生数に応じ、派遣教員数を検討する必要がある。また、派遣教員の中に現任教員が少ないため、教育委員会と連携し、現任教員の推薦に協力していただけるように調整していく。

外部有識者の所見

アウトカム指標のうち「我が国が受け入れる外国人留学生数」は中国及びマレーシアの留学生であればその注釈が必要であるが、全ての留学生ということであればアクティビティとアウトプットと直接結びつかないため、中国及びマレーシアの留学生に限定する必要がある。「選考試験実施」に係る協力の事業に関するアウトプット指標の設定が必要である。事業概要に記載の「準備教育課」の開設・推進の事業に関して、アクティビティもアウトプットもアウトカムも記述や指標の設定がされておらず、活動実績の有無が判定できない。UMAP単位互換認定の実績について、アウトプットとアウトカムに同じものであるが、ロジックモデルを明確にし、事業の成果を適切測るため一層の工夫が必要である。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の改善	外部有識者の所見を踏まえ、事業の成果を適切に測るための成果指標、特に所見にある「我が国が受け入れる外国人留学生数」「選考試験実施」「準備教育課の解説」「UMAP単位互換認定の実績」等については、一層の工夫、見直し、もしくは新たに設定が必要である。
---------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、「我が国が受け入れる外国人留学生数」「選考試験実施」「UMAP単位互換認定の実績」等の成果指標等について、見直しを行う。
-------	---

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	176			
平成24年度	197			
平成25年度	429			
平成26年度	426			
平成27年度	417			
平成28年度	399			
平成29年度	407			
平成30年度	412			
令和元年度	文部科学省 - 0405			
令和2年度	文部科学省 0406			
令和3年度	文部科学省 0407			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p align="center">文部科学省 183.8百万円</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="margin-right: 10px;"> 謝金 83.0百万円 旅費 85.0百万円 庁費 15.8百万円 </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="margin-left: 10px;">を含む</div> </div>
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中国及びマレーシアからの留学生を受け入れるにあたり、現地で行う予備教育のために教員派遣 や選考試験実施等の協力を行う。 ・準備教育課程を開設する教育機関の指定等のための調査等を行う。 ・UMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援する。 </div>
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <p align="center">A.UMAP日本国内委員会 2.4百万円</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <p align="center">加盟各国との連携・協力の下、UMAP単位互換方式に基づく単位互換普及等により、地域内の学生交流を推進。</p> </div>

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.UMAP日本国内委員会			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	拠出金	UMAPへの拠出等	2.4			
	計		2.4	計		0
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	UMAP日本国内委員会	-	UMAPへの拠出等	2.4	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	